

全国の活動紹介

山陰発 山陰合同銀行が 「企業フィランソロピー大賞」 受賞

2月28日、山陰本部の事務局をつとめる山陰合同銀行は、SDGs達成に向けた企業の社会貢献活動を顕彰する「第22回企業フィランソロピー大賞」を受賞しました。フィランソロピーとは、ギリシャ語の「フィリア（愛）」と「アンソロポス（人類）」が語源で、日本では「社会貢献」と訳されており、同賞を主催する（公社）日本フィランソロピー協会は、企業のCSR活動を支援することで、一人ひとりが自分の役割を果たし支え合う社会をつくることを目指しています。

同行は1997年より山陰本部の事



（左から）山陰合同銀行・田中良和常務執行役員、日本フィランソロピー協会・浅野史郎会長

務局をつとめ、「小さな親切」運動の会員や学校と連携し「海岸清掃」「あいさつ運動」「声優さんによる紙芝居上演」等、幅広い活動で豊かな心づくり・温かな地域づくりに貢献しています。

そのほか同行独自の取り組みとして、「役職員の募金による子ども食堂等への寄附」「森林保全活動」「私塾尚風館の運営を通じた青少年育成」「障がい者の自立支援」等、長年にわたり様々な社会貢献活動に取り組んでいる点が評価されました。

同行は「今回の受賞を機に、これまで以上に持続可能な地域社会の発展に尽力したい」と語っています。大賞受賞、誠におめでとうございます。

静岡発 耕作放棄地を「レモン」で再生

静岡県本部（事務局・静岡総合サービス（株））及び、静岡銀行各支店では、県内各地で「小さな親切」運動を推進しています。2月23日、下田支店の皆さんは南伊豆町伊浜地区で行われたレモンの植樹活動に参加しました。

同地区では人口減少や高齢化が進み、美しい段々畑が失われつつありますが、これを再興し新たな特産品をつくろうと、「地域おこし協力隊」が中心となって毎年耕作放棄地にレモンの苗木を植えています。レモンの植樹

な親切」の実践活動をしていた方も。

「つどい」では、作文朗読や「小さな親切」実行章の贈呈、与野南中学校による実践活動報告、公園の緑化・清掃活動に取り組む八王子中学校へ感謝状の贈呈等が行われました。

また、与野西中学校からはあいさつ運動の報告が届きました。元気なあいさつができるようになるには、「毎日の積み重ねが大切」とのこと。運動本部提供のたすきとのぼりを活用し、毎朝元気に取り組んでくれています。



表彰を受けた皆様と記念の一枚



毎朝続けているあいさつ運動

- 寄附者ご芳名
（2025年1月～3月）
末・都道府県順・敬称略
- 埼玉県 小松原和夫／
 - 千葉県 鎌田榮夫
 - 「小さな親切」運動御宿支部

読者PRESENT



本誌7頁では、運動本部のある水道橋周辺を紹介しています。水道橋といえば、野球やアミューズメントの聖地「東京ドーム」の最寄り駅ということで、親切運動オリジナルクリアファイルと東京ドームのクリアファイルをセットにして3名様にプレゼントいたします。柄は運動本部にお任せください。

応募方法：「氏名」「住所」「年齢」「本誌の感想」をご記入の上、FAX（03-3263-3838）または応募フォームよりご応募ください。

締め切り：2025年6月20日（金）必着。



応募フォーム

「未来をつくる青少年の心づくり応援寄附金」申込書

2025年 月 日

氏名（ふりがな）	年齢	歳
団体・法人名		担当者名
住所〒		
連絡先	TEL	FAX
	E-mail	
寄附金額	振込先	みずほ銀行 九段支店 普通預金口座 1298186
円	（振込予定日 月 日頃）	
（振込予定日 月 日頃）		
会員の有無（ ☒ 印をつけてください） ☐ 会員（会員番号： ） ☐ 非会員		

ご寄附いただいた皆様には、毎年2月発行の作品集（作文コンクール&はがきキャンペーン合併版）をご寄贈申し上げます。

【申込方法】

- 1 本申込書にご記入の上、
FAX：03-3263-3838
へお送りください。
- 2 スマホやPCからも申し込みできます。

【アンケート】

- 1 寄附金の使い道 ☐ 青少年の豊かな心を育む実践活動 ☐ その他親切運動全般
- 2 寄附金者の氏名・都道府県名の公表について ☐ 許可する ☐ 許可しない
- 3 「小さな親切」運動を何で知りましたか
☐ 「小さな親切」実行章を受章 ☐ 図書館・銀行などで冊子を読んだ

☐ その他

- 4 寄附をするきっかけ



個人用 法人用



たくさんのレモンが実をつけますように

は、今回が7回目。貴重な体験であることに加え、当日は子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方々が参加しており、世代を超えた交流を楽しむこともできたそうです。

地元の皆様のこうした努力によって、美しい景観とともに地域のつながりも守られていることを改めて実感しました。

東京発 新年度の活動計画等を話し合う

運動本部は2月14日、「2024年度全国地方本部事務局長会議」を開催。年に一度、道府県本部の事務局長や担当者が集まり、その年の成果を振り返るとともに、次年度の活動計画等を話し合う会議です。数十年以上続く当運



よりよい活動になるよう話し合っています

埼玉発 温かなコミュニティで 運動推進 与野支部

2月16日、埼玉県与野支部は「与野のつどい」（さいたま市PTA協議会

動ですが、時代の変化とともに活動形態の見直しを迫られることもあるため、全国の皆様と直接意見交換ができる貴重な機会となっています。

地域や職種は違っても、「小さな親切」でよりよい社会づくりを目指す仲間です。会議の後に行われた懇親会では、和気あいあいとした雰囲気の中親交を深めました。

2025年度も全国の皆様とともに、活動を進めてまいります。